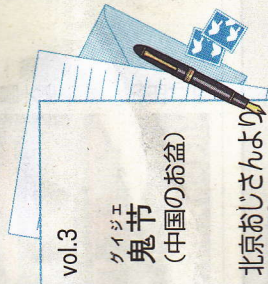
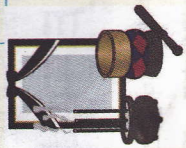


中国便り

今の中国を各地からお届け



北京おじさんより



8月といえば「お盆」。毎年、ふるさとや行楽地で過ごす人たちの帰省ラッシュで大混雑だ。

日本のお盆は、浄土にいる霊魂が生前過ごしていた地上に帰ってくるといわれ、お供え物や飾り物のほか、胡瓜と茄子で馬と牛をかたどった「精霊馬」「迎え火」「送り火」などを行う風習がある。

中国ではお盆のことを「鬼节」、正式名称は「中元节」または「盂兰盆节」とい、「清明节（春彼岸）」と同じく先祖を祀る重要な日とされている。

鬼节は、閻魔大王が冥界の門を開け、鬼の魂がこの世にやってくるという伝説がある。中国では、人は死ぬと「鬼」になると考える。中国の「鬼」は死者を意味し、日本の「鬼」とは全くイメージが異なる。

よって「鬼节」の「鬼」は「故人」と同じ意味になる。

「鬼节」では、親族が

集まりの墓参りをし、鶏肉、豚肉、揚げ豆腐、「紙钱」などを供える風習がある。

「紙钱」とは、紙に銭の形を印刷したものや、金紙や銀紙を貼りつけたもの、あるいは紙幣に模したものなどがあり、死者や先祖があの世でお金に困らず裕福に暮らせるようにとの願いが込められている。

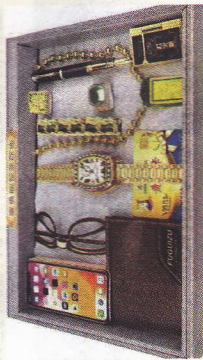


「紙钱」の例
発行元は「天地銀行」

「紙钱」を燃やす事でお金が煙となり冥界まで届くとされている。地獄の沙汰も金次第といったところか。田舎に暮らしている人は墓参りに行くが、都市部に暮らしている人や帰省できなかった人

などはこの時期になると町の十字路で紙钱を燃やしているのを見かける。十字路は四方八方に通じているということで、冥界に届くと信じられているからだ。

近年ではH V車やE V車、スマホやタブレット、最新家電が印刷されたものや立体型なものもある。ご先祖様もテクノロジーの進化にさぞかし驚きつつスマホ片手にE V車を乗りこなしていることだろう。



立体型「紙钱」、必需品一式揃っている

しかし近年、大気汚染や火災などから規制が厳しくなり、禁止されている地域もある。時代とともに風習も変化している。閻魔さまに怒られないよう古きよき習慣を守っていききたいものだ。

北京おじさん

微博名 假日本人西田聡
一个师从相声大师 丁广泉的京都人
ウエイボー名 假日本人西田聡
相声大师 丁広泉に 師事する京都人

北海道日中友好協会

北海道と中国の子供たちが、絵手紙交流

北海道日中友好協会が仲介して、北海道と中国の子供たちの絵手紙交流が始まった。中国の江蘇省蘇州市相城区が企画した初の交流活動で、北海道内の50小中学校から、絵手紙740点が集まり、7月上旬に相城区に到着した。区内の図書館や博物館、商業施設で展示される運び。

きっかけは、道中の青木雅典会長が新春のあいさつを兼ね、コロナ禍にあっても友好交流の継続を呼びかけたメッセージ。中国各地に

送ったうち、蘇州市相城区からは「私の美しい故郷」をテーマに児童生徒による絵手紙作品の募集呼び掛けがあり、道教育委員会と道総合政策部国際局が協力した。

集まった絵手紙740点は、相城区から送られてきた所定の台紙に描き込まれ、キタキツネなどの動物、自慢の風景や観光名所、地元の銘菓といった絵柄の力作ぞろい。

相城区の小中学生の作品も相当数に上るとみられ、展示を通じた友好気運の広がりが楽しみだ。相城区は、今年が区創設20周年で、中日関係を地方で発展させるモデル地区に指定されている。（理事長 佐々木政文）



小学生が描いた力作ぞろいの絵手紙作品＝北海道庁

あなたの日中交流を教えてください

個人的な交流も大歓迎！ 住所・氏名・年齢・電話番号・所属を明記の上、メールで広報部 (kouhou@j-cfa.com) までお送りください。郵送も可。ぜひ写真や動画も添えて、500字程度までお願いいたします。

なお、原稿の加筆修正にはご理解ください。